～未来のために～ いま

明石市立二見中学校
第２学年(72 回生)学年通信
平成 30(2018)年 12 月３日
第１３４号

ハロウィーンは何の日か

（無職　神戸市中央区）　77歳

東京の渋谷でハロウィーンの日に奇想天外な仮装をした人々の群衆ができた。そこまでは自由である。

でも「ハッピー・ハロウィーン」と大きな奇声を発しながら車をひっくり返したり金品を奪ったり、痴漢行為をしたりごみを投げ散らかしたりするのは犯罪である。ハッピーな日になぜ、人として恥ずかしいことをしようと思うのか分からない。

成人の日もそうだ。めでたくてハッピーな20歳の若者が羽目を外そうとする真意が分からない。ものの道理がよく分かり、加えて善悪の判断ができるようになるのが真の意味の成人ではないのだろうか。

神戸のルミナリエの時の人々の動きを一度見においでと言いたい。満員電車のようになった混んだ道をみんな粛々と歩く。適切な間隔を保って整然と歩く人々に「押し合わないでください」という警備の人の声がなければもっと神戸の品格が上がると思う。





○私はこの記事に賛成です。人は何かパーティーなどになると気持ちが上がってしまい、良いことと悪いことの判断がつけられなくなると思った事があります。成人の日では２０歳になり、大人の仲間入りをしたのだから、大人らしい態度で振る舞うべきだと思います。いつまでも子ども気分で生活するのではなく、大人らしい生活をして、充実した暮らしができるのが理想だと思いました。ハロウィーンでも、成人した人がしょうもないことで注意されたりするのはいけないと思いました。

○僕も同じようなことを考えていました。ニュースにもなっていましたが、人のトラックをひっくり返すや、金品を奪うなど、りっぱな犯罪です。どうして年に１度のハロウィーンでそのようなことを犯すのか、僕には理解ができません。普通にハロウィーンなどをしたい人もいるのにそういった人がいれば、ハロウィーンがなくなってしまうかもしれない。なので、ハロウィーンを楽しむことは、良いと思うけど、度が過ぎてはいけないなと思いました。

○最後に警備の人の声ってあるけど、学校でもそうだと思いました。例えば、呼びかけ（３分前・私語をしないなど）。これがなくても整然とと歩けるようになれば神戸の品格が上がるのと同じで、呼びかけがなくても３分前着席ができたり、私語がなくなればクラスの品格、学年の品格が上がると思いました。この雰囲気をつくることや、注意されたら素直に聞くことも大切にしたいです。

○僕はニュースでハロウィーンの翌日に、仮装をしてゴミ拾いをしている人を見ました。ハロウィーンで暴れすぎて犯罪を起こす人もいればボランティアでゴミを拾う人もいるんだと思いました。こんな人がいるから、日本は平和が保たれているんじゃないかなと思いました。人として善悪の判断をしっかりやり、ハッピーな日に犯罪を起こさなければ本当にハッピーな日になると思います。

○ハロウィーンのときに犯罪をする人たちは、その場の熱狂的な空気に流されるばかりになっているんだと思う。成人の日も同じだと思う。場の空気に流されて、善悪の判断がつかない人たちは、成人、つまり大人になる日とは考えていなくて、ただお祭りの日か何かだと考えているんじゃないだろうか。

○この記事を読んで、ニュースとかでハロウイーンがやっているとき、いろんなことをして暴れまわったりしていて、見ていて不快な気持ちになりました。大人になっているのにあんなことしたりして、ああいう大人にはなりたくないと思いました。この記事に書いているように、善悪の判断ができるようになるのが真の意味の成人というところで、この言葉にとても納得しました。

○ハッピーな日に羽目を外してしまったら、自分は楽しくてもまわりの人がハッピーにならない。特に車をひっくり返された人や、金品を奪われた人などのことも考えて楽しんでもらいたいと思った。成人の日もそれまで両親や家族、周りの人たちが支えてきてくれたのに、そのめでたい日に問題をおこしたら、子どもの頃と何も変わっていないと思った。

○ハロウイーンの本当の意味を知らないからできるんだなと思う。本当の意味はあの世とこの世がつながる日であるのに、とても悲しい限りだ。同じ人間として恥ずかしいと思う。また、成人の日には羽目を外す人が多いらしい。大人になった喜びと興奮がそんな行動を起こしているんだろう。僕は20歳ではなく18歳で成人になる。あと4年しかない。4年後の僕はどんな人になっているだろうか。分からないけれど、羽目を外さないようにしたい。そのために一つ一つの行動の意味を考え毎日を過ごしていきたい。それにしても人と人がたくさん集まるとよく分からない力ができる。なぜなんだ・・。

○この記事を読んで、物事の本当の意味が見えなくなっている人が日本は多いと感じました。別にお祭りやイベントなどで楽しむのはいいことだと思います。でも、そういう日だからといって調子にのって他人に迷惑をかけるのは間違っていると思うので、もっと、自分のしていることが本当に正しいことなのかちゃんと考えられる人間になりたいです。

○自分が住んでいる国でこういうことがあるのはとても嫌です。日本は良い国だと思うので、車をひっくり返したり、ゴミを投げたり・・・そういう行動をとった人たちに、日本の印象を悪くしないでほしいと伝えたいです。イベントや学校の行事でも言えることですが、楽しい雰囲気を壊したりする人は、他人に迷惑をかけていることを知ってほしいです。自分も他人に迷惑をかけないように、日々の生活で心がけていきたいです。

○ハロウィーンとか成人式のテレビを見ていると、よい日のはずなのに、一部の人たちのせいで悪い日になってしまうのが、子どもの私が見ても分かります。でもそれは、誰かが始めて、その空気にのってしまう人がいるから大きなことになっていると思います。こういうことは学校でもあることだと思うので、悪い空気、良い空気というのを見分けて、ついていく、ついていかないをしっかり判断しないとだめだと思いました。



生徒会選挙に向けて

11月30日から朝のあいさつ運動が始まりました。放送での演説も行われました。今週からは１年の学級訪問が始まります。
これからこの二見中を引っ張っていくのは青学年のみなさんです。その中心となって活動したいという熱い思いを胸に立候補した１０名を青学年みんなで応援し、できることは積極的に協力していきましょう。
今週末が立ち会い演説会、そして選挙が行われます。
いよいよ新しい１年が始まります。青学年が中心となる２０１９年が楽しみになってきました。